



京町家を再生

西村孝平(京都府)

新しいネーミングにより、不動産コンサル業を広く認知していただくことが大事だ。宅建業界の人たちも収益になる業務と違っていないところが広がらない原因だと思う。これを機にコンサルで収益が

あげられる事例を近代化センターで広報していただきたい

い。現在は京町家の有効活用として収益の計画・プランニング・改修施工・斡旋をしている。京都の町家の一棟貸宿泊施設「京宿家」・リノベーションした貸家「京貸家」・シェアハウス「京だんらん」などがメインだ。

京都には今4万8000戸の京町家があるが、毎年2%が解体されている。新たな収益物件として提案することで保全・再生ができればと思っている。(にしむら・こつへい(株)八清代表取締役)